

「自転車交通安全セーフティ・プロモーション」

平成23年度緊急雇用対策「自転車適正利用促進事業」が9月1日から開始され12月下旬まで府内の集客施設や大学等で実施されます。

9月から、京都市山科区や亀岡市で地域住民・学校で事業活用による「自転車交通安全セーフティ・プロモーション」が順次実施されていますので、取組を紹介します。

山科駅前ステーション(府民協働防犯ステーション)の取組(9/17)



山科警察署と協働し、京都市立安朱小学校の校庭で実施しました。準備前の時間、小雨もちらつく天候に不安もありましたが、子どもたちのため、地域の方々は着々と準備を進めました。

時間になると、たくさん子どもたちと保護者が集まり出し、何故か雲が避けるように天気にも…
(この日、交通安全教室の時間だけが晴れでした！)



開始時間までの間と、終了してからの時間、「自転車適正利用促進事業」無料点検を実施親子で自転車点検に参加、エア注入や油差等、また点検表を読み上げながら点検してもらう参加者も、短い時間に集中し、整備員も大変



京都市立安朱小学校のすぐ隣には、京都府立洛東高等学校があります。今日は、女子バスケットボール部員がボランティア参加！

山科警察署員から激励を受け、開始前には入念にチェックする姿も…
はじめてのことに少し不安なのかも…



交通安全教室が開始されると、小学生にしっかりと指導する姿になりました。

警察官の前では少し堅めの小学生も、高校のお姉さんには馴染みやすい???



お父さん・お母さんは微笑ましく、地域の方々は頼もしく眺め、若者との協働に大満足でした。

事故の考察！京都府立亀岡高等学校交通安全教室(9/28)



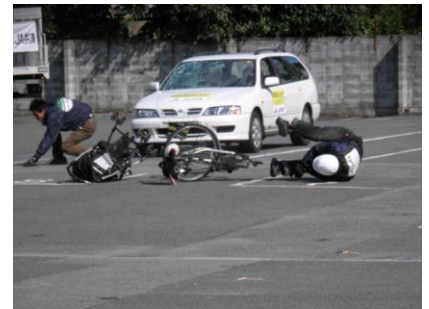
京都府立亀岡高等学校で、京都府警察本部、亀岡警察署、JA共済主催の交通安全教室が実施されました。

午後からの授業を前に、いつもは、先生方の駐車場で、JA共済から委託を受けた、シャドウ・スタントプロダクションの皆さんが準備を進めました。



自転車の左側通行無視、雨の日の傘差し運転、携帯電話のながら運転、二人乗りが重なり自転車同士が衝突、その車道に投げ出された一人が走ってきた車に跳ねられ死亡した事故の再現(実際に起こった事故再現)では、自転車同士の衝突の激しさ、車が人にぶつかる衝撃を目撃

ベビーカーを押すお父さんが、横断歩道手前で停止中、車が先を譲ろうと一旦停止、お礼をして横断歩道を渡ると一旦停止した車を後ろから高速で自転車が追い越しました。次の瞬間ベビーカーは、勢いよくはじき飛ばされ、乗っていた赤ちゃんが死亡した事故の再現



民家の高い塀で見通しの悪い道から車道への道で、一旦停止せずに飛び出した自転車が時速40キロの車に跳ねられた死亡事故を再現

右は脇道から出てきた車に暴走自転車が衝突し、はね飛ばされた状況を再現



大型車両の死角について巻き込み事故を人行をつかって再現

ペシャンコになった人形を見て、生徒たちはなにを思ったのでしょうか・・・



**スクアード・ストレイトで、自分と人の命を守るために必要なことが
ごくあたりまえに誰でもできる、ルールを守ることを学習！**